

といた こう

www.toita-susumu.jp



vol.5

[新春号] 2017.2.10

心に愛をもち
あなたの声を
市政に生かします。



新年あけましておめでとうございます。

皆さまには、お健やかに初春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

坂井市議会議員として、4年目を迎える今年は、私にとって節目の年であります。初心を忘れることなく、皆様の声を市政に届けていきたいと思っておりますので、どうか変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。

坂井市は、昨年の3月に市制10年を迎え、この1年を通じていろいろな記念事業を行ってきました。その事業のひとつとして、この10年を振り返り、「坂井市は住んでいる人の笑顔で支えられている。」「坂井市はいいところだよ。」を再認識し、改めてひとつになれるよう、市のテーマソング「しあわせの花」とプロモーションビデオを製作し、議会報告会など機会あるごとに上映をいたしました。

常に全国住みやすさランキング上位に位置付けされる坂

井市にとっても、少子高齢化が一層進展することが懸念される中で、坂井市総合計画に掲げる将来像、「輝く未来へ…みんなで創る希望の都市」を実現するためには、地域の活力を維持し、若者が魅力と生きがいを感じることのできる環境づくり、次世代を担う人材育成、そして、人口減少克服が必要不可欠となっております。

我々議会も、皆様が笑顔で、素晴らしい実感できるような希望の都市(まち)を目指し、政策の決定機関と監視機関として議会活動に取り組むとともに、生まれ育った地域のため頑張りたいと決意を新たにしたところであります。

本年が、平穏で災害や事故のない年でありますことを願い、また、皆さまにとって、健康で幸多き年になりますようご祈念申し上げまして、新年のご挨拶をいたします。

平成29年1月

といた 進



磯部とわたし

1/24 磯部ビジョン(夢)づくり発表会出席 ①



私が出席した磯部地区の行事を一部紹介します。

1/29 磯部福祉の会講演会出席

3/11 丸岡南中学校卒業式出席

3/16 磯部ふくしの会役員会出席

3/17 磯部小学校卒業式出席

3/19 磯部体育協会総会出席

4/6 丸岡南中学校入学式出席

4/16 磯部地区まちづくり協議会総会出席

4/24 磯部地区区長会視察参加 ②

4/27 磯部地区区長会要望書提出同席

4/30 磯部地区ふくしの会総会出席

5/20 NPO法人つどいの家総会出席

7/17 磯部夏まつり参加 ⑤

8/7 磯部地区合同サロン出席

9/10 私立よつば保育園安全祈願祭出席

9/24 磯部小学校運動会開会式出席

10/30 磯部ふれあいまつり出席

11/15 磯部地区区長会要望書提出同席 ⑥

11/29 磯部地区住民福祉懇談会出席

12/11 クリスマスコンサート in いそべ参観



野球とわたし



野球少年だった私が出席した行事を紹介します。

6/11→

JA花咲杯学童軟式野球大会



→7/16

日本少年野球福井大会開会式

→8/11

福井県知事杯学童軟式野球大会開会式

↓10/23

坂井支部長杯学童大会開会式



坂井市議会 定例会 一般質問内容

平成28年3月

これからの高齢者介護に

Q. 介護予防事業を実施する施設について今後どのように考えるのか。

A. 高齢者がより身近な場所で介護予防事業を目的とした通いの場事業の充実を図ることで、より効果的に展開できるものと考えている。

そのために、新たな介護予防拠点施設を整備するのではなく、空き家なども含めた既存の建物を活用して、介護予防事業を実施していきたいと考えている。



丸岡地区老人会意見交換会 (8/31)

Q. 基幹型地域包括支援センターの体制強化と今年から民間に委託する、地域包括支援センターとの連携、市民に対する周知について。

A. 基幹型地域包括支援センターでは、必要な人員を確保する。今後は、民間包括支援センターに基幹センター職員が指導助言や、毎月の例会をとおして連携を密にし、一体的な体制づくりに努める。

市民の皆さんには、広報誌やホームページでお知らせする。

Q. 平成29年度に、介護予防事業から地域支援事業に移行する、「訪問型サービス」「通所型サービス」の受入施設、施設使用料など、市としての方向性について。

A. 今回の法改正では、緩和した基準によるサービスを市の裁量で提供することができるため、坂井地区介護保険事業所と協議を重ねていきたい。

また、利用者負担額については、人員基準などの緩和を図り、現行の単価を少し下げて設定しながら、介護保険事業所が運営しやすく、多くの高齢者が利用しやすいようなサービスとなるよう検討していく。



Q. 坂井市に住んで良かったと心から思えるような、高齢者介護施設について。

A. 高齢者の方々が生きがいの持てる充実した高齢福祉のため、鋭意努力する。

坂井市議会関連 Schedule

1月 7日 広報委員会



12日 志政会定例会

12日 定例協議会

18日 広報委員会

25・26日 志政会・東京研修

28日 広報委員会

2月 1日 志政会・市長と語る会

9日 定例協議会

15日 志政会・当初予算勉強会

16日 全員協議会

17日 志政会・当初予算勉強会

17日・18日 議会報告会

23日 全員協議会

23日 3月議会初日

24~26日 予算特別委員会

3月 7日 3月定例会 代表質問

8・9日 3月定例会 一般質問

15日 総務教育常任委員会

17日 予算特別委員会／全員協議会

22日 3月議会最終日／全員協議会

4月 7日 広報委員会

11日 志政会定例会／定例協議会

12~14日 志政会視察

15日 広報委員会

21日 地域包括ケアシステム研修会

5月 6日 全員協議会／総合交通対策特別委員会

9日 臨時議会 教育民生常任委員会委員長就任

定例協議会

18日 議会運営委員会／全員協議会

24・25日 議会報告会

27日 議会運営委員会

6月 3日 議会運営委員会／全員協議会

10日 議会運営委員会／全員協議会

6月定例会 初日／広報委員会

13日 志政会定例会／定例協議会

総合交通対策特別委員会

20・21日 6月定例会 一般質問

23日 産業建設常任委員会 傍聴

24日 教育民生常任委員会

27日 総務常任委員会 傍聴

30日 議会運営委員会／全員協議会

6月議会 最終日

総合交通対策特別委員会

平成28年6月

坂井市インバウンド事業について

Q. 今回「越前加賀インバウンド推進機構」が設立されたが、以前の「越前加賀宗教文化街道～祈りの道～推進協議会」との違いはどこにあるのか。

A. 推進協議会は、構成市町である坂井市、あわら市、勝山市、永平寺町および加賀市に点在する宗教文化資源を結び付けて、宗教文化に特化した広域な観光ルートを確立し、その資源の魅力向上と情報発信により、首都圏の熟年世代をターゲットに観光誘客を図るものであった。

越前加賀インバウンド推進機構は、今までの協議会で構築した観光ルートや観光資源に加え、付加価値の高い「食」や「温泉」、さらに「自然の造形美」などの観光資源を生かした圏域にしかない魅力的な観光ルート造成とともに、共同プロモーション活動や、福井港、小松空港などの交通拠点を生かした旅行商品を積極的に提供し、首都圏のほか、今後も大幅な増加の見込める海外からの観光客の誘客に力を入れた施策を展開する。



Q. シティセールス事業の推進とインバウンド推進機構との連携について。

A. 越前加賀インバウンド推進機構において策定される事業計画を尊重しつつ、自然、歴史、文化など、この圏域のすばらしい魅力のさらなる磨き上げを推し進めるとともに、圏域内の観光資源はどのような階層をターゲットとするのか、また、類似の観光資源や観光地と比較し、何をポイントとするべきなのかななど、戦略的なプロモーションのあり方について、5市町のエリアの中で、坂井市が持つ魅力をより引き立ててPRしていきたいと考えている。

Q. 広域観光の推進について。

A. 坂井市だけでは知名度が低いので、5市町が持つ自慢のものを持ち寄って、大きなエリアで国外にPRしていく。



平成28年9月

第3次定員適正化計画について

Q. 職員の適正な定数をどのように考えるのか。

A. 市では、職員の定員適正化を行政改革の主要な取り組みの一つとして位置づけしている。

総務省が毎年実施する地方公共団体定員管理調査によると、坂井市は民生部門で職員数が突出して多くなっており、民生部門を除いた一般行政職や教育職を人口1万人当たりの類似団体と比較すると概ね適正な職員数である。

Q. 市民生活課の受付業務や、会計課の収納業務を民間に委託できないのか。

A. 市民生活課の受付業務については、一部委託している自治体も多く見受けられることから、坂井市においても同様の委託は可能である。

一方、会計課の収納業務については、全国的にあまり事例がないことから、検討が必要である。

いずれの業務も委託後は、一定の人件費の削減効果も見込まれることから、今後は先進自治体などの事例を参考にしながら検討していきたい。



Q. 標準財政規模（地方自治体の一般財源の標準的大きさを示す指標）における職員給与の占める割合は、どれくらいが適当と考えるか。

A. 平成26年度決算で類似団体の平均が、17.4%、坂井市は、16.3%となっている。

標準財政規模は、人口が同じであっても、面積の大小や地理的条件、産業構造などにより、地方税や普通交付税が大きく左右されることから、標準財政規模を基準に適正な職員給の割合を判断することは極めて困難である。

Q. 組織において、年齢層における人数割合は一定数が必要と思うが、現在の割合についてどう考えるか。

A. 各年齢層それぞれ一定の職員数の確保は非常に重要である。このため市では、平準化した職員採用に取り組み、平成26年度から、再任用職員や任期付職員の積極的な活用を行っている。

現在進めている第3次適正化計画では、従来の職員削減に重点を置いた計画から、市民サービスの一層の向上を図りつつ、効率的・効果的な業務の遂行が行えるような計画を策定する。



7月 11日 志政会定例会／定例協議会

14日 広報委員会

19日 議会運営委員会

21日 広報委員会

22日 東京インバウンド研修参加

23日 東京一筆啓上展式典出席

23日 一期生議員・三国病院研修

8日 定例協議会

19日 志政会・国会議員陳情

23・24日 議会報告会

30日 議会運営委員会

9月 2日 全員協議会／広報委員会

9日 議会運営委員会／9月議会 初日

12日 志政会定例会／定例協議会

総合交通対策特別委員会



20・21日 9月定例会 一般質問

23日 産業建設常任委員会 傍聴

26日 教育民生常任委員会

27日 総務常任委員会傍聴

30日 議会運営委員会／9月定例会 最終日

10月 11日 定例協議会／総合交通対策特別委員会

14日 議会運営委員会／全員協議会／臨時議会

19日 行政視察受入出席

20日 広報委員会

24日 広報委員会

11月 1日 行政視察受入出席

2日 子育て支援センター意見交換会

8～10日 教育民生常任委員会行政視察

14日 市政会定例会／定例協議会

18日 総合交通対策当別委員会県要望書提出

平成28年12月



これからのシティセールス事業

Q. これまでの事業について、どのように評価・検証を行っているのか。

A. 具体的な成果として、東京でのアンテナショップの開設、全国プロモーションサミットの開催、現存12天守同盟など全国への情報発信の強化や、越前織コンテストにおける越前織業界への参画、一筆啓上のPRや品川区との連携における市内の中高生の参画、さらには、えちぜん鉄道の駅名変更における沿線地域住民の参画などが挙げられる。



Q. これまでの事業で、継続する事業は考えているのか。

A. 特に、品川区との連携により生まれたアンテナショップ、弘前市との連携から生まれた現存12天守同盟は今後とも継続していかなければならない重要な事業である。

Q. リピーターを増やすための施策として何か考えているのか。

A. 観光客が坂井市を訪れた際の好印象、次に訪れてみたい

という新たな魅力の創出の2点だと考える。

全国に向けたシティセールスを行い交流を深めていくことは、リピーターを生み出す有効な手法の一つだと考えている。

Q. 関係課との連携をどのように考えているのか。

A. 全庁において横断的な取り組みを行い、関係課との連携を図っていきながら、シティセールにつながる情報を一元化に集約し、坂井市におけるシティセールス事業及び関連事業の創出と推進に向け、組織的に取り組んでいきたいと考えている。

7月 11日	志政会定例会／定例協議会	20・21日	9月定例会 一般質問	22日	議会運営委員会
14日	広報委員会	23日	産業建設常任委員会 傍聴	25日	全員協議会
19日	議会運営委員会	26日	教育民生常任委員会	12月 2日	議会運営委員会／12月定例会／広報委員会
21日	広報委員会	27日	総務常任委員会傍聴	5日	市政会例会／定例協議会
22日	東京インバウンド研修参加	30日	議会運営委員会／9月定例会 最終日	5日	総合交通対策特別委員会
23日	東京一筆啓上展式典出席			12日	12月定例会 一般質問／議会運営委員会
23日	一期生議員・三国病院研修			13日	12月定例会 一般質問
8日	定例協議会			14日	教育民生常任委員会
19日	志政会・国会議員陳情			15日	産業建設常任委員会 傍聴
23・24日	議会報告会			16日	総務常任委員会 傍聴
30日	議会運営委員会			19日	坂井高校 1日議会塾
9月 2日	全員協議会／広報委員会			22日	議会運営委員会
9日	議会運営委員会／9月議会 初日	2日	子育て支援センター意見交換会	22日	全員協議会／12月定例会 最終日
12日	志政会定例会／定例協議会	8～10日	教育民生常任委員会行政視察		
	総合交通対策特別委員会	14日	市政会定例会／定例協議会		
		18日	総合交通対策当別委員会県要望書提出		

といた進 活動報告

2016.1 – 2016.12

7/23 東京一筆啓上展



- 1月**
- 9日 嶺北消防出初式出席
 - 10日 坂井市成人式出席
 - 20日 福井県市町議会議員研修会出席／丸岡地区区長会出席
 - 23日 丸岡城を国宝にする市民の会説明会出席
 - 29日 一筆啓上入賞作品発表会出席

- 2月**
- 26日 まちづくり協議会発表会出席
 - 29日 丸岡城天守を国宝にする市民の会設立準備委員会出席

- 3月**
- 5日 五領川公共下水対策協議会総会出席
 - 6日 第23回梨一賞表彰式出席
 - 25日 五領川公共下水道組合議会
 - 26日 丸岡城天守を国宝にする市民の会設立総会出席
 - 29日 福井坂井地区広域圏事務組合議会
 - 30日 東京都品川区議会議員意見交換会

- 4月**
- 2日 丸岡城桜まつり式典出席
 - 6日 鳴鹿小学校入学式出席
 - 9日 竹田農山村交流センター（ちくちくぼんばん）落成式出席

- 5月**
- 8日 嶺北消防組合坂井消防団火災防ぎょ訓練参列
 - 12日 坂井市国際交流派遣団報告会及び解散式出席
 - 22日 坂井市制施行10周年式典出席
 - 26日 川西国道線建設促進期成同盟総会出席
 - 27日 北陸新幹線芦原温泉駅建設促進同盟会総会出席
 - 29日 一筆啓上賞式典出席
 - 30日 はるさか・三国給食センター視察

- 6月**
- 5日 丸岡古城マラソン開会式出席
 - 5日 坂井市郷土芸能祭出席
 - 8日 坂井市総合美術展及び開場式典出席
 - 19日 丸岡町総合体育祭開会式出席
 - 26日 坂井市防犯隊練成会出席
 - 28日 坂井市愛護センター運営委員会出席

- 7月**
- 1日 竹田農山村交流センター（ちくちくぼんばん）オープニング式典参加
 - 1日 英国青少年団表敬訪問出席
 - 2日 坂井市子ども文化祭出席
 - 9日 丸岡城天守を国宝にする市民の会出席
 - 10日 社会福祉協議会設立10周年記念式典出席
 - 21日 坂井地区広域連合介護保険運営協議会



7/16 ボランティアの集い参加



11/2 子育て支援センター意見交換会

といた進後援会事務所
ホームページを開設しています。

www.toita-susumu.jp といた進

検索

ぜひご覧ください。

フェイスブックページも開設しています。「といた進後援会」に、ぜひ「いいね！」を押してください。
フェイスブックの内容は、ホームページのトップページでもご覧いただけます。

日常生活の中で思ったこと、活動内容など少しづつ更新しています。ぜひのぞきに来てください。

- 7月**
- 26日 福井港丸岡インター連絡道路整備促進協議会出席
 - 27日 坂井地区広域連合 7月議会定例会

- 8月**
- 3日 坂井市姉妹都市延岡 ジュニア交流隊歓迎式出席
 - 7日 嶺北消防組合総合訓練出席
 - 20日 さかい夏まつり式典出席
第37回 中野重治を偲ぶつどい出席
 - 30日 丸岡城天守を国宝にする市民の会理事会出席
 - 31日 丸岡老人会との意見交換会出席

- 9月**
- 3日 坂井市民スポーツ祭総合開会式出席
 - 9日 丸岡南中学校体育祭開会式出席
 - 11日 特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会参加
 - 24日 B-1グランプリ東海北陸ブロック大会参加



9/26 教育民生常任委員会三国保健センター視察

- 10月**
- 2日 まるおかスポーツレクリレーション開会式出席
 - 3日 五領川公共下水道事務組合議会定例会
 - 9日 丸岡古城まつり式典出席
 - 18日 坂井市小学校連合運動会開会式出席
 - 24日 福井県市町議会議員合同研修会出席
 - 26・27日 全国プロモーションサミット出席
 - 30日 坂井市市民文化祭式典出席



- 11月**
- 2日 福井県国保運営協議会講演会出席
 - 3日 坂井市社会福祉大会出席



10/29 赤い羽根募金活動

- 13日 かるた選手権福井大会開会式出席
- 14日 坂井市国際交流英国派遣団結団式出席
- 16日 福井県市議会議長会合同研修会出席
- 17日 坂井地区広域連合 介護保険運営協議会出席
- 17日 国保運営協議会出席
- 19日 三国かにまつりオープニングセレモニー出席
- 22日 坂井地区広域連合 11月定例会
- 26日 坂井市青少年健全育成推進大会出席

- 12月**
- 4日 坂井市子どもミュージカル観覧
 - 26日 五領川公共下水道事務組合 12月定例会

発行：

といた進後援会事務所

坂井市丸岡町下安田第11号8番地

Tel.0776-66-5413

Fax.0776-76-4469

第5号 2017年2月10日発刊